



みんなで創り守り育てる
岐阜市の公共交通の取り組み



令和8年2月16日

岐阜市都市建設部交通政策課長 桐山雅司

市の概要



位置・面積



岐阜県
(Gifu Prefecture)

岐阜県の 県庁所在地

1909年8月制定

市の面積
203.60km²



アクセス

名古屋からJRで **約20分**

中部国際空港から
名古屋鉄道で **約60分**



人口

中核市 **約40万人**
※岐阜県 約190万人

〔 男 約18.9万人
女 約20.8万人
世帯数 18.9万世帯 〕
(R7.4.1現在 住民基本台帳世帯人口)



気候

平均気温 **16.7℃**
年間降水量 **1978mm**
(岐阜地方気象台)



歴史文化

斎藤道三 井口と呼ばれた稲葉山
(金華山)山麓に城下町形成

織田信長 「井口」から「岐阜」へ
「楽市・楽座」で町を発展



観光

長良川鶺鴒 (国 重要無形民俗文化財)
5/11-10/15 開催 1300年以上の歴史

岐阜城 (国史跡)
鎌倉時代に、二階堂行正が金華山の山頂に砦を
築いて以降、様々な武将が城主に

ぎふ長良川花火大会
長良川で開催されるぎふの夏の風物詩

など



“信長公のおもてなし”が
息づく戦国城下町・岐阜”が
日本遺産に認定(H27.4)



産業・特産品

ファッション産業

東京・大阪と並ぶ全国有数のアパレル産地

農業

稲作や野菜を中心とした都市型農業

- ・枝豆 ・かき(富有柿)
- ・いちご ・だいこん
- ・長良川ぶどう など



ぎふべじ
岐阜市など周辺市町の
特産農作物の愛称

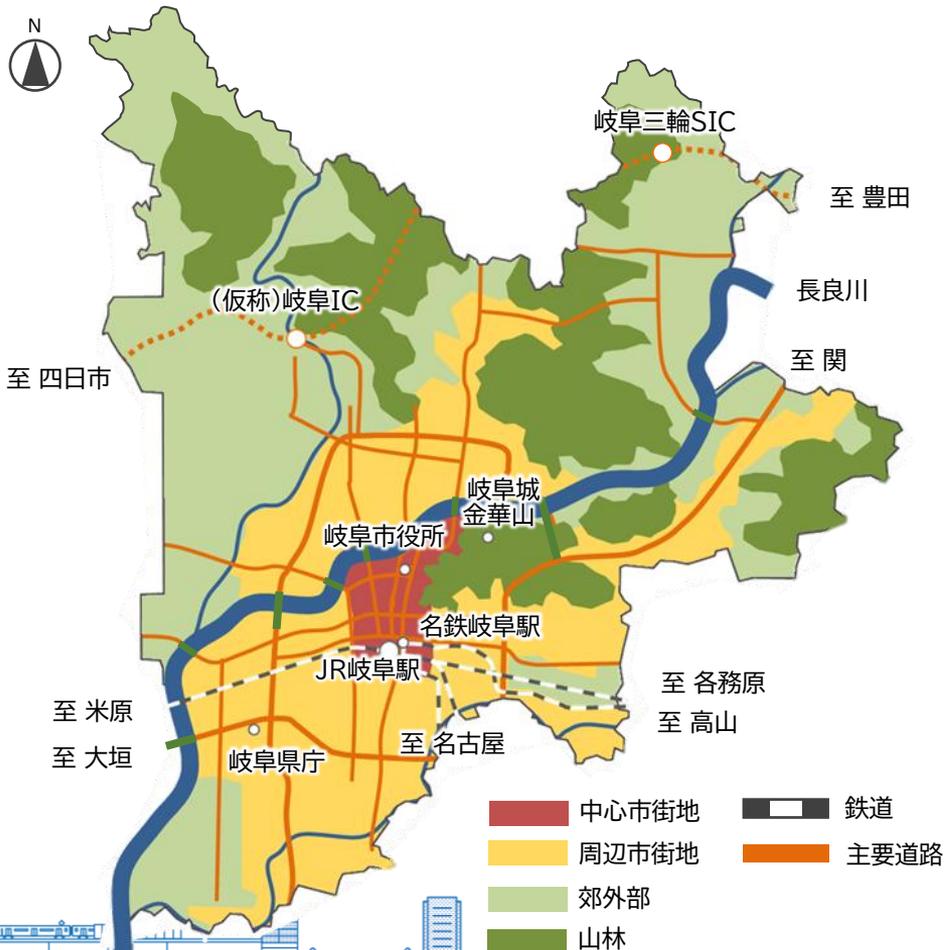
伝統工芸品 (国指定)

岐阜提灯

岐阜和傘



市の概要



土地利用

市街化区域 **39.4%** (8,027ha) 市街化調整区域 **60.6%** (12,333ha)

農地や自然地にあたる自然的土地利用が約6割



公共交通

	鉄道	2社	JR東海 名古屋鉄道(株)
	路線バス	1社	岐阜バス 岐阜乗合自動車(株)
	コミバス	市	ぎふっこバス 岐阜市(委託先: ㈱日本タクシー)
	タクシー	6社	<small>※市内本社の事業者</small> (株)日本タクシー 日の丸自動車(株) 岐阜交通東部(株) つばめ自動車(株) (株)共立タクシー 岐阜名鉄タクシー(株)
	シェアサイクル	市	Gifu-ride キフライド 岐阜市(委託先: ekobike㈱)

岐阜市の交通政策について



岐阜市みんなで創り守り育てる地域公共交通条例

地域公共交通は市民の日常生活・社会生活の基盤であることから、地域社会全体の財産ととらえ、持続可能な地域公共交通を創り、守り、育てていくため、市民、事業者、公共交通事業者、行政それぞれの責務・役割を条例に明記

H27.11
施行

市民



- 公共交通の担い手であることの自覚
- 公共交通の積極的な利用
- 公共交通に関する活動に主体的に参加

事業者



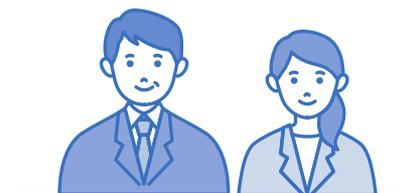
- 公共交通の利用に関する意識啓発
- 通勤時における公共交通の利用促進

公共交通事業者



- 利用状況を把握し、市民の意見を聴き、運営に反映
- 利便性向上、市、市民、事業者に対する利用促進

行政



- 総合的かつ計画的な施策の策定・実施
- 公共交通に関する意識啓発
- 市民、事業者の意見を聴き、施策に反映



※都市・地域総合交通戦略要綱に基づく

第3次岐阜市総合交通戦略 2019(R1) ~ 2023(R5)

交通事業とまちづくりが連携した**総合的かつ戦略的な交通施策**

将来像

公共交通を軸にコンパクトにまとまった、いつまでも住み続けられるまち

※地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づく

岐阜市地域公共交通計画 2021(R3) ~ 2025(R7)

地域にとって望ましい**公共交通の姿**を実現する**マスタープラン**

基本方針

公共交通とまちづくりが連携した持続可能な地域公共交通の構築

2つの
計画を1つに
市民に
よりわかり
やすく

統合

※都市・地域総合交通戦略要綱 及び
地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づく

岐阜市総合交通計画

(岐阜市総合交通戦略 岐阜市地域公共交通計画)
2024(R6) ~ 2028(R10)

「公共交通」「徒歩や自転車」「道路空間の利活用」
「中心市街地の活性化に向けた交通体系」などの
様々な分野の施策を
総合的かつ一体的に推進するなど
公共交通とまちづくりがより連携した計画

基本方針1 持続可能な公共交通ネットワークの形成



基本方針2 人とまちをつなぐ 道路空間・交通環境の充実



基本方針3 交通・まちの未来に向けた挑戦



基本方針4 みんなではぐくむこれからの交通



みんなの交通を みんなでつむぐ 誰もが多様なライフスタイルを実現できるまち・岐阜市



■ 主な交通施策

- 1 公共交通ネットワークの構築
- 2 新技術の導入推進
- 3 官民連携による交通環境の整備
- 4 公共交通の担い手確保
- 5 その他（交通政策の様々な施策）



1 公共交通ネットワークの構築



1 公共交通ネットワークの構築

■ 持続可能な公共交通の確保

- ▶ 郊外部と市中心部を結ぶ**路線バスの幹線軸の強化**と**地域主体の手作りコミュニティバス**を軸に**利便性と持続性**の高い公共交通ネットワークを構築

■ 路面電車

明治44年度 運行開始

平成17年度 運行廃止



■ 市営バス

昭和24年度 運行開始

平成14~16年度 民間譲渡



路線バス

- ・ JR岐阜駅から**放射状に路線配置**
- ・ JR岐阜駅と各地を結ぶ**8本の路線**と市内を循環する**2本の環状路線**を**幹線軸**とし、**機能を強化**



路線バス

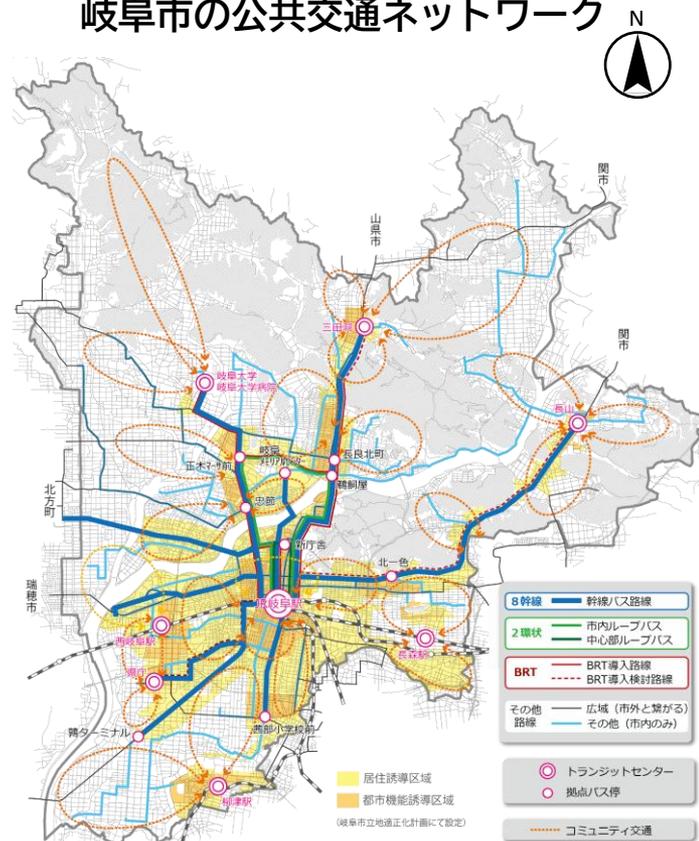
コミュニティバス

- ・ **路線バスを補完し**、地域内の**日常生活の移動を確保**
- ・ 地域、行政、交通事業者が一体となった**地域主体の手づくりコミュニティバス**



コミュニティバス

岐阜市の公共交通ネットワーク



1 公共交通ネットワークの構築（路線バス）

■ バス幹線軸の強化

▶ 公共交通軸となる幹線バス路線の強化のため、**岐阜市型BRTを導入**

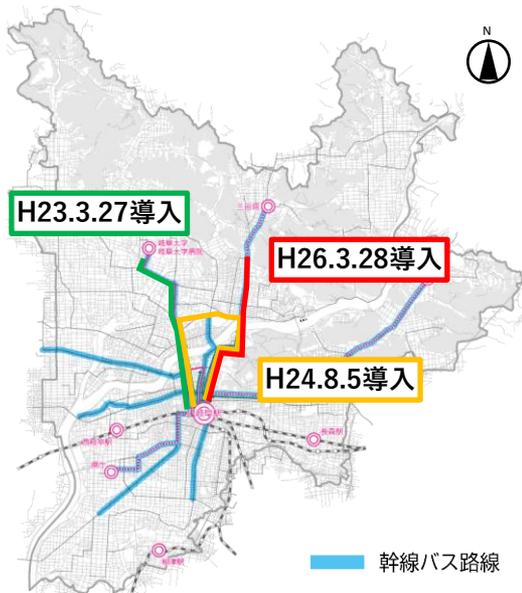
連節バス

H23導入当時、**首都圏以外では初**

(H23～H26)

連節バス4台

3路線に導入



全国で
4番目

バス優先レーン / PTPS

・ **バス優先レーン** 導入延長 約17.4km

車線をカラー化
朝・夕の時間帯に一般車の走行を規制

・ **PTPS（公共交通優先システム）** 導入延長 約7.5km

交通管制システムと連携し信号による
運行の影響を低減



S63.9
から
順次整備

H16.3
から
順次整備

1 公共交通ネットワークの構築（路線バス）

■ 岐阜市型BRTの導入（連節バス）

 **GIFU RED OMNIBUS**

R7.4
運行開始
4台のうち
2台更新

水戸岡鋭治氏 デザイン

Designed by Eeiji Mitooka+ Don Design Associates



撮影：白鳥真太郎

- 1947** 7月5日生(78歳)岡山市出身
- 1972** ドーンデザイン研究所設立
- 2013** ななつ星 in 九州 (JR九州)
- 2016** 清流ライナー (岐阜乗合自動車)
- 2019** **IKEBUS** (豊島区)

▶ R6.11.10 公共交通フェスタ2025にて



市民へ
デザイン
を説明



1 公共交通ネットワークの構築（コミュニティバス）

■ 地域主体のコミュニティバス事業の推進

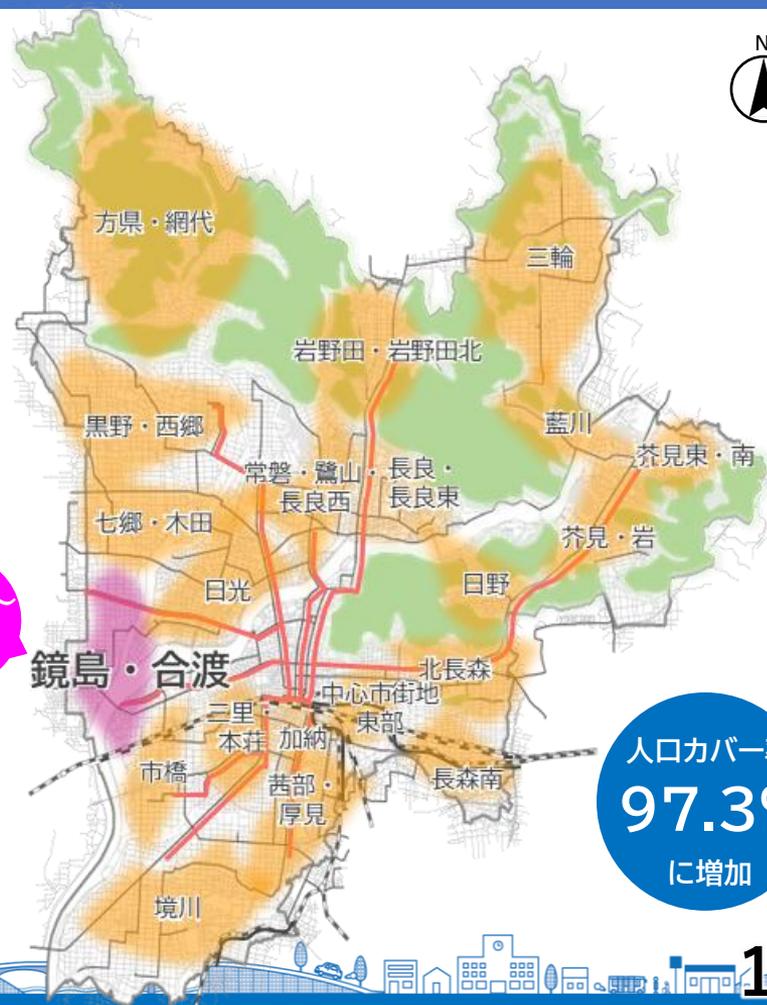
- ▶ 平成18年から**市民協働の手づくり**
コミュニティバスを導入

R8年1月現在

21地区

コミバス 20地区 デマンド 1地区

（鉄道・路線バス・コミュニティバスの人口カバー率97%）



1 公共交通ネットワークの構築（コミュニティバス）

■ 地域主体のコミュニティバス事業の推進

- ▶ 地域が日常生活の移動の確保のため、**自らコミュニティバスを導入する**システム
- ▶ 地域が**当事者意識を持ち、効率的・利便性を確保**する（運賃、ルートを地域が決定）

高齢者等の地域内における
日常生活の移動の確保

地域住民が主役となる**市民協働の
手づくりコミュニティバス**



運営協議会の様子



ボランティアによる
乗車サポート

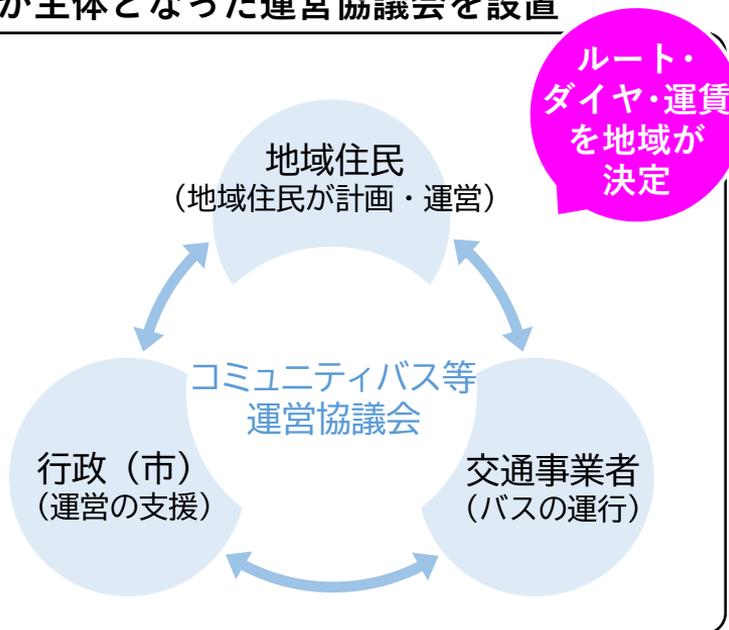
地域住民が主体となった運営協議会を設置

地域は最大限努力
(明確な収入目標)
地域負担（運賃・広告）
地域に応じて

9~25%

行政が
地域の努力を支える
行政負担（補助金）
地域に応じて

75~81%



2 新技術の導入推進



自動運転バスの継続運行とレベル4自動運転の実現

▶ 運転手不足をはじめ様々な課題に対する一つの解決策として、公共交通への自動運転技術の導入を推進

R1

岐阜市公共交通自動運転技術活用研究会を発足
金公園内の自動運転車両走行実験

R2

県内で初めて公道での小型バス車両による実証実験

R3

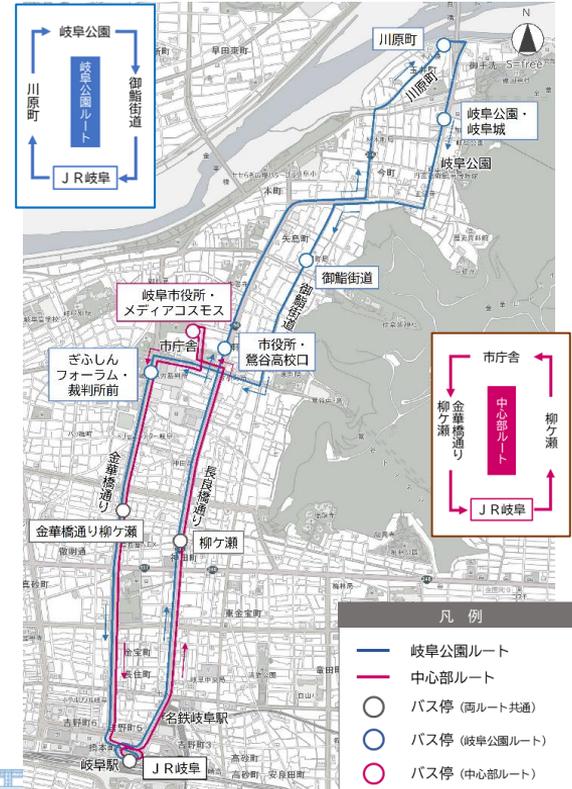
県内で初めて中心市街地でのハンドルやアクセル、
ブレーキペダルがない自動運転バスによる実証実験

R4

歩行者と車両が分離されていない川原町を通る
岐阜公園ルートを追加し、約1ヶ月間の実証実験

R5

中心市街地では全国初となる、自動運転バス
 5年間の継続運行をスタート



運行期間	R5.11.25 ~ R10.3.31 (5年間)
運行ルート	中心部ルート : 毎日運行 12便/日 約5km/周 (約40分)
	岐阜公園ルート : 土日祝運行 3便/日 約9km/周 (約70分)
その他	<ul style="list-style-type: none"> 運賃無料 定員10名 ※オペレーター1人除く 原則予約制 ※空席がある場合は予約なしで乗車可

■ 自動運転バスの継続運行とレベル4自動運転の実現

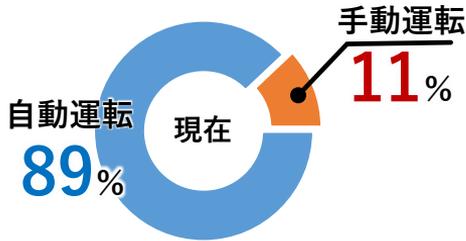
運行便数 (R8.1.25時点)

乗車人数 (R8.1.25時点)

総合計 **10,406** 便

総合計 **93,777** 人

自動運転割合



主な手動介入要因

- ① 路上駐停車の回避
- ② 対向車の接近回避
- ③ 車線変更

レベル4
実現への
課題

障害物回避等の対応が可能な

新たな車両を導入

令和7年 国土交通白書に掲載

column コラム

岐阜市における中心市街地での自動運転バスの取組 (岐阜市)

岐阜市に本社を置く岐阜乗合自動車では、高齢化に伴うバス運転手の減少(2019年度末431名→2024年度末374名)により、運転手不足が深刻な課題となっており、市民の移動の足への影響が懸念されている。

このような背景もあり、岐阜市では持続可能な公共交通ネットワークの構築に向け、「自動運転レベル4」の実現を目指し、2023年11月より自動運転バス(GIFU HEART BUS)の継続運行を実施している^{※1}。駅前等、交通量が多い中心市街地で自動運転バスが継続運行されるのは全国初である。

信号協調システムや路車協調システム^{※2}の整備を進め、中心市街地における完全自動右折を実現させており、自動運転での走行割合は89%に達している。乗車実績としては、2025年4月に6万人を達成しており、

運行の便数も6,600便を超えている。また、利用者の多い中心市街地で自動運転バスの継続運行を実施することで、市民が自動運転技術を知るきっかけになるなど社会受容性の向上が期待される。車体は、視認性の高い「赤色」を採用するなど、街中を走行していると一目でGIFU HEART BUSと分かる工夫がなされている。さらに、岐阜市は、ルート沿線に住む市民等を対象とした試乗会や、市内の全小中学校を対象にした体験乗車等、自動運転バスの認知度を高める取組を積極的に実施している。

公共交通への自動運転技術の導入に向けて、今後、岐阜市は5年間の継続運行を通して技術の検証を進めるとともに、更なる社会受容性の向上を図りながら、自動運転技術を様々な場へ広く展開するための運行体制の構築を検討することとしている。

<岐阜市中心部を走る自動運転バス>



資料) 岐阜市

<市内の小中学校を対象にした体験乗車>



※1 2024年度時点は自動運転レベル2。

※2 車載センサーで検知が困難な道路状況を道路に設置するセンサー等により検知し、自動運転車両等へ情報提供する仕組み。

2 新技術の導入推進

■ 自動運転バスの継続運行とレベル4 自動運転の実現



▶ 令和7年1月17日から、**新車両の運行開始**

GIFU HEART BUS
自動運転車両に、新しい仲間が加わります。
2026.1.17 デビュー

5年間 岐阜市の中心市街地で自動運転バスが運行
2023.11.25日 → 2028.3.31日

自動運転バスがいつも走っているまち岐阜市
GIFU CITY



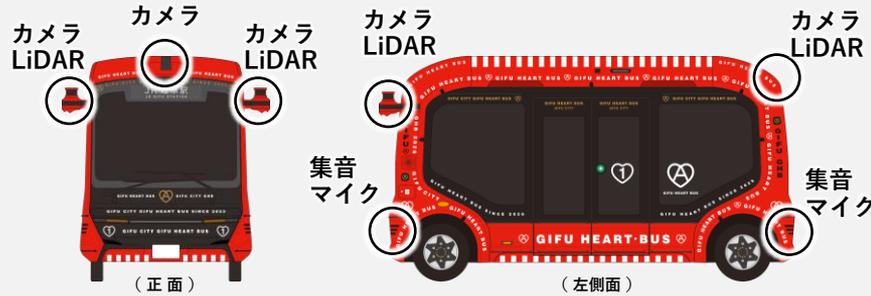
案内ポスター

新車両出発式

■ 自動運転バスの継続運行とレベル4自動運転の実現

▶これまでのレベル4自動運転実現への課題に対応するため、**障害物回避や車線変更が可能な新車両を導入**

13台のカメラ、5台のセンサーで周囲の状況を把握



車両制御 物体識別	検知範囲
障害物の 存在の検知	最大 200m
歩行者・自転車・ 車両等の識別	最大 120m

海外で
レベル4の
実績のある
車両

障害物等を認識し
AIの判断も合わせ
自動回避



■ 車両の特徴

- POINT ① 高度な車載装置による検知と認識
- POINT ② AIによる予測と判断
- POINT ③ 集音マイクでサイレンを検知し、緊急車両に対応して停車

■ 新車両の実験概要

- ▶ 中心部ルートで毎日6便運行
- レベル2での
100%の自動走行を積み重ね
- 令和7年度中にレベル4へ移行



**全国初となる中心市街地でのレベル4自動運転を実現し、
自動運転のトップランナーとして全国を牽引！**

3 官民連携による交通環境の整備

(バスまちば)

3 官民連携による交通環境の整備 (バスまちば)

■ 中部地方初の取り組み「バスまちば」

▶ 雨や風などの影響を受けることなく、**バス接近情報を表示するモニター**を見ながら、**お店の中などで快適にバスを待つ**ことができる



令和7年 国土交通白書に掲載

column コラム

官民連携によるバス待ち環境整備 (岐阜市)

公共交通を軸とした持続可能なまちづくりの実現には、利用者が快適に公共交通を利用できる環境整備が不可欠。バス事業者の抱える課題を深刻化する中、バス待ちの環境に自治体・事業者・民間が連携を深めること。【バスまちば】は、この連携の成果を社会に発信し、必ずしも十分に実現しているとはいえない状況である。

岐阜市では2022年から、岐阜県で初めて、自治体・事業者による官民連携の取り組みとして、公共交通の待合環境をバス待ちスペースに活用する「バスまちば」の取組を実施している。

【バスまちば】では、新・市民生活情報局、コンビニエンスストア、バス事業者が協力を結び、待合設備の提供にバス接近情報を表示するデジタルサイネージを設置し、利用者は待合スペースで、快適にバスを待つことができる。各バス事業者によっては、既存の待合施設を活用することで、新たなバス待ちスペースの創出が実現している。

※1 2025年3月時点。

利用環境の向上のため**民間敷地内**に**自転車駐車場**や**ベンチ**を設置する取組も



自転車駐車場の設置 (スギ薬局 粟野東店)



ベンチの設置 (十六銀行 忠節支店)

R4年度 6 店舗開設

- ・コンビニエンスストア

R5年度 6 店舗開設

- ・コンビニエンスストア
- ・ドラッグストア

R6年度 6 店舗開設

- ・コンビニエンスストア
- ・ドラッグストア
- ・金融機関 (銀行)

R7年度 6 店舗開設

- ・コンビニエンスストア
- ・スーパー
- ・金融機関 (信用金庫)



現在 **計24箇所**



4 公共交通の担い手確保

4 公共交通の担い手確保

■ 運転手雇用支援事業

- ▶ 市では深刻化する**運転手不足への解消**に向け、**令和7年度から新たに**、乗合バス事業者に対する**運転手の方の住まいへの補助を開始**

市営住宅居住費補助

- ・乗合バス事業者の運転手の住まいとして、**市営住宅を活用**
- ・乗合バス事業者が負担する**1年間の運転手の市営住宅の家賃のうち、2分の1の額を市が補助**
※実質、1年間運転手の方の家賃負担はなし

➡ **現在、市営住宅に1名が入居**

全国初の
取組み

バス事業者では
さらに
家電も用意



市営住宅 黒野コーポ

住宅支援金補助

- ・乗合バス事業者が支援する1年間の運転手の**民間賃貸住宅居住に対する支援金**のうち、1人あたり**15,000円を上限に市が補助**

➡ **現在、2名が制度を活用**

4 公共交通の担い手確保

バス
タクシー
事業者と
連携

■ 運転手の雇用支援

▶ 高校生以上に公共交通の大切さを伝える授業と併せ**運転手の職業を紹介するセミナーを開催**



R4年度

2校 実施 (計139名)

岐阜市立女子短期大学、市立岐阜商業高等学校

R5年度

2校 実施 (計183名)

岐阜市立女子短期大学、岐阜聖徳学園大学

R6年度

2校 実施 (計223名)

中部学院大学、岐阜市立女子短期大学

R7年度

2校 実施予定

岐阜市立女子短期大学、市立岐阜商業高等学校

受講者の声



- ・バスは大変そうだけど、やりがいがあると感じた
- ・運転手不足が深刻であることがわかり、通学以外でも公共交通を利用しようと思った

受講した生徒が採用に関し**バス事業者**に問合せ





5 その他



- ・ 昼得きっぷ
- ・ モビリティ・マネジメント
- ・ 公共交通イベント

5 その他（昼得きっぷ）

■ 昼得きっぷ

- ▶ バスの利用者の少ない **平日** 昼間時間帯（**10時～17時**）に 岐阜バス全路線が **1日 500円** で**乗り放題**となる企画乗車券「**昼得きっぷ**」を販売

バスの
新規需要の
掘り起し

券の種類 スクラッチ式（紙）、モバイルチケット

令和3年5月の販売開始から、

1日 **102** 枚販売、累計 **11万5千枚** 以上販売



公共交通利用促進事業（「昼得きっぷ」配布） R5年度

- ・公共交通をより多くの方に利用いただくほか、外出のきっかけづくりとして配布

【対象者】 市民 **65歳以上** の方

【配布】 **スクラッチ式乗車券** を **1人当たり5枚** 配布

※「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用

対象 118,717人中、
54,417人 引換え（引換率 **46.5%**）



引換えた
方のうち
約8割 が
利用

5 その他（モビリティ・マネジメント）

■ モビリティ・マネジメントの実施

▶ 平成26年度から令和5年度

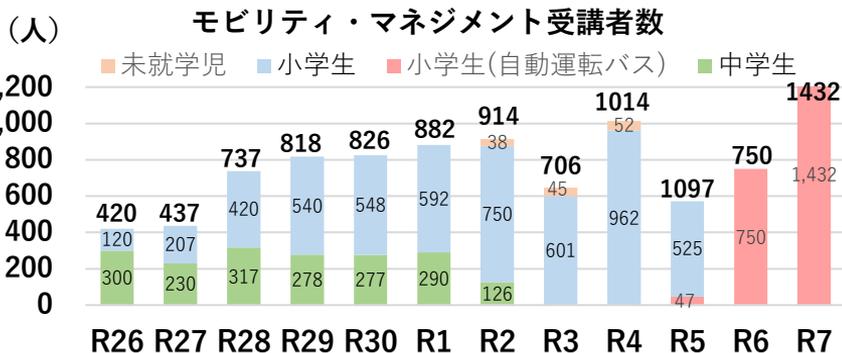
将来バスを移動手段として選択してもらえよう、
小中学生を中心に、**バス車体を使った乗り方教室、**
クイズを取り入れたバスに関する講義を実施



公共交通を学ぶ授業



バスの乗り方教室



受講した
児童に
大好評！

▶ 令和6年3月から

GIFU HEART BUS を活用した
モビリティ・マネジメントを開始



GIFU HEART BUS

令和9年度中までに、
市内の全小学校への実施を予定

これまで市内全48校のうち**29校に実施**
(リピート校も含め延べ約2,200人が受講)

受講者の声



- ・バスについてとても詳しくなれた
- ・自動運転バスに乗れてワクワクした
- ・今日知ったことをみんなに教えたい



自動運転バス乗車体験



公共交通を学ぶ授業

5 その他（公共交通イベント）

■ 公共交通利用促進イベントの開催

▶ バス等の公共交通に親しめる**体験イベント**を実施し、**公共交通への意識向上と利用促進**を図る

岐阜市科学館 de 公共交通フェア



GW来館者
約1.8倍
(昨年度比)



自動運転バス技術紹介



オペレーター制服なりきり



自動運転バス乗車体験

公共交通フェスタ



12回目
協力企業 4倍
〔4社 16社
H26→R7〕



レベル4自動運転バス
乗車体験



らくがきバス



バス運転手さん
なりきり体験



みんなの交通を みんなでつむぐ

岐阜市

